

2024 年 1 月 12 日

2023 年度第 4 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2023 年度第 4 四半期決算を発表しました。

第 4 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、2022 年度第 4 四半期における 71 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.85 ドル)に対し、31 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.35 ドル)となりました。
 - 2023 年度第 4 四半期の調整後純利益は 59 億ドル(調整後希薄化後 1 株当たり利益は 0.70 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、26 億ドル(10%)減少して 220 億ドルとなりました。BSBY の公表停止の影響を除くと、調整後収益は 4%減少しました。
 - 純受取利息は、預金コストの上昇及び預金残高の減少が資産利回りの上昇を上回ったため、5%減少して 139 億ドル(FTE ベースで 141 億ドル)となりました。
 - 非金利収益は、18 億ドル減少して 80 億ドルとなりました。調整後非金利収益は、264 百万ドル減少して 96 億ドルとなりました。
 - マーケット・メイキング及び類似する活動の減少は、資産管理手数料及び投資銀行事業手数料の増加を上回りました。
- 貸倒引当金繰入額は、12 百万ドル増加して 11 億ドルとなりました。
 - 2022 年度第 4 四半期においては 403 百万ドルの引当金の積増し(純額)であったのに対し、88 百万ドルの引当金の取崩し(純額)となりました。
 - 貸倒償却(純額)は 2022 年度第 4 四半期より増加して 12 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、22 億ドル(14%)増加(2023 年度第 3 四半期より 19 億ドル(12%)増加)して 177 億ドルとなりました。

- FDIC 特別査定を除くと、調整後非金利費用は、2022 年度第 4 四半期より 94 百万ドル (1%)増加(2023 年度第 3 四半期より 201 百万ドル(1%)減少)して 156 億ドルとなりました。
- 平均預金残高は、2023 年度第 3 四半期より 290 億ドル(2%)増加して、1.9 兆ドルとなりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、2023 年度第 3 四半期より小幅に増加して 1.1 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動資金は、8,970 億ドルとなりました。
- 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2023 年度第 3 四半期からわずかに増加して 1,950 億ドルとなりました。
- CET1 比率は、11.8%(標準的アプローチ)となり、2024 年 1 月 1 日から適用される最低所要自己資本比率を 181 ベーシス・ポイント上回りました。
- 普通株式配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 27 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、9%増加して 33.34 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、12%増加して 24.46 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率(ROE)は、4.3%となりました。平均有形普通株主持分利益率(ROTCE)は、5.9%となりました。調整後 ROE は 8.6%、調整後 ROTCE は 11.7%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。